

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

転校生が来たのは、五月の連休が明けた月曜日だった。名前は森下さんという。先生に紹介されたあと、森下さんは窓ぎわのいちばん後ろの席に座った。私の席の、ななめ前だ。

昼休み、森下さんは弁当を自分の机で開いた。私たちはいつも、四人で机をくっつけて食べている。誰かが声をかけるだろうと思っていた。でも、誰も声をかけなかった。私も、かけなかった。転校生に話しかけるのは、なんだか目立つ気がした。

火曜日も、水曜日も、森下さんは一人で食べた。弁当を食べ終わると、窓の外を見ていた。校庭の桜は、もう葉だけになっていた。

木曜日、私は英語の教科書を忘れた。困っていると、ななめ前から、そっと教科書が差し出された。森下さんだった。「一緒に見る？」私は自分の机を前に寄せて、その日の授業を二人で受けた。森下さんの教科書には、前の学校の名前が書いてあった。

授業が終わって教科書を返すとき、私は「ありがとう」と言った。森下さんは「ううん」と首を振った。それだけだった。でも、そのあと私は、ずっと考えていた。森下さんが声をかけるのに、目立つとか、そんなことは関係なかった。困っている人がいたから、教科書を出した。それだけのことを、私は月曜日からずっと、できずにいた。

昼休みになった。私は自分の弁当を持って立ち上がった。三人が、「どこ行くの」という顔でこちらを見た。

「森下さん、一緒に食べない？」

声は、思ったよりも小さかった。でも、森下さんには聞こえたいらしい。森下さんは、弁当のふたを持ったまましばらく私を見た。それから、机を少しだけ、こちらに寄せた。

窓の外の桜の葉が、風で揺れた。四人の机に、もう一つの机がくっついた。

(この問題のための書き下ろし)

問一 「私も、かけなかった」とありますが、その理由を「ゝから」につながるように、本文中から二十五字以内で抜き出さないさい。

問二 「校庭の桜は、もう葉だけになっていた」という一文の働きとして最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

ア 季節が春の終わりであることを示すとともに、一人で外を見る森下さんのさびしさを景色に重ねている。

イ 桜がもう散ってしまったことを、私が残念に思っていることを表している。

森下さんが花よりも葉が好きだということを表している。

エ 学校の校庭が広いことを説明している。

問三 「私は、ずっと考えていた」とありますが、「私」が気づいた森下さんの行動の理由を、本文中から十五字以内で抜き出さない。

[illegible]

問四 「声は、思ったよりも小さかった」とありますが、ここから「私」のどんな気持ちが読み取れますか。四十字以内で説明しなさい。

[illegible]

問五 「四人の机に、もう一つの机がくっついた」という最後の一文の説明として最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

ア 机の数が増えて教室がせまくなったことを説明している。

イ 森下さんが私たちの輪に入ったことを、机の様子で表している。

森下さんが自分の席を移動したことを説明している。

エ 私が森下さんの席に移ったことを表している。